

今週（8月31日から9月4日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが旺盛な中、出合いの水準は0.97%台で推移した。また、地銀業態の試し取りにより、一部付利を上回る水準での出合いも見られた。

加重平均レートは、0.977%～0.978%で推移しており、9/4日(金)も同水準での取引が中心となった。

ターム物については、保険業態による付利以下での運用と、証券業態や一部銀行業態による実需での調達が中心となり、幅広い期間で引き合いが見られ、0.9%台後半～1.40%程度での出合いとなった。特に9月会合や9月末を跨ぐ期間では調達レート水準を引き上げる動きが見られた。

日銀当座預金残高は、424兆円程度でスタート。1日(火)の2年債発行や2日(水)の法人税・年金保険料揚げにより、416兆円程度に減少。9/4日(金)は、415兆円程度での着地が見込まれる。

●債券レボ市場

今週のGC T/N物の出合いは、1.005%前後での推移となった。
SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが軟調に推移した。
4日に実施された3M物入札では、無難な結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、石油、卸売、建設等複数の業態で大型発行が見られた。
市場残高は、週を通して25兆円台後半で落ち着いて推移している。
発行レートは、9月利上げを確実視する動きから、9月末償還や1カ月程度の短い案件でも投資家の運用目線にばらつきが生じる展開となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/31 (月)	66,311.93	2.940	160.01	0.977	1.000	4,243,800
9/1 (火)	66,215.34	2.990	159.77	0.977	1.000	4,189,600
9/2 (水)	64,325.64	3.010	160.25	0.977	1.000	4,155,500
9/3 (木)	64,214.48	2.965	158.00	0.978	1.000	4,157,400
9/4 (金)	65,020.94	2.903	156.00	0.977	1.000	4,158,300

翌週（9月7日から9月11日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/7 (月)	*8月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) *消費活動指数(日銀 14:00頃) *8月のコール市場残高(日銀 15:00)		*New York祝日(Labor Day) *4-6月期のユーロ圏GDP確定値
9/8 (火)	*4-6月期の実質国内総生産改定値(内閣府 8:50) *7月の国際収支(財務省 8:50) *8月の貸出・預金動向(日銀 8:50) *8月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)	5Y物 9/9発行 25,000億円	
9/9 (水)	*8月のマネーストック(日銀 8:50)	TDB6M物 9/10発行 30,000億円	
9/10 (木)	*デリバティブ取引に関する定例市場報告(日銀 8:50) *増日銀審議委員挨拶(福井県金融経済懇談会 10:30)	流動性供給 17,000億円 9/11発行 7,000億円 17,000億円 9/24借入 5,946億円	*ECB定例理事会 *8月の米生産者物価指数(PPI)
9/11 (金)	*8月の企業物価指数(日銀 8:50)	TDB3M物 9/14発行 35,000億円	*7月の英月次GDP *8月の米消費者物価指数(CPI)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/7 (月) 日銀予想	600	3,200	3,800	国債補完供給 社債等買入	300 ▲ 100		200	4,000	TDB3M発行▲35,000 償還41,000
9/8 (火) 弊社予想	400	▲ 1,000	▲ 600				0	▲ 600	
9/9 (水) 弊社予想	300	▲ 36,000	▲ 35,700				0	▲ 35,700	5Y発行▲25,000
9/10 (木) 弊社予想	▲ 300	8,000	7,700				0	7,700	TDB6M発行▲30,000 償還38,000
9/11 (金) 弊社予想	500	▲ 11,100	▲ 10,600				0	▲ 10,600	流動性供給発行▲7,000 交付税特会借入▲12,000 償還12,500

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、今週と同水準での推移が見込まれ、無担保コールON物は0.977～0.978%近辺での出会いが中心となることが予想される。ターム物は、9月末越えのターム物についてはさらにレートが引き上げられるとみられる。債券レポ市場は、GC T/N物のレートは0.98～1.01%程度のレンジを予想する。短国市場は、9日(水)に6M物、11日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では7日(月)に消費活動指数、8月のコール市場残高、8日(火)に4-6月期の実質国内総生産改定値、8月の貸出・預金動向、8月の景気ウォッチャー調査、10日(木)に増日銀審議委員挨拶(福井県金融経済懇談会)、11日(金)に8月の企業物価指数などが公表予定である。海外では7日(月)に4-6月期のユーロ圏GDP確定値、10日(木)にECB定例理事会、8月の米生産者物価指数、11日(金)に7月の英月次GDP、8月の米消費者物価指数などが公表予定である。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。